

# ことラー募集!

川崎で活動する「アートコミュニケーター」を「ことラー」とよびます。



募集人数

30名

×切

2/4火

消印有効



こと!  
こと?  
かわさき

「こと!こと?かわさき」は、まち全体をフィールドとし、アート(文化芸術)を介して、人と人、人と場所、人とモノの間に「こと」を生み出し、人々がつながり合う「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。活動の主体となるのは、アートコミュニケーター「ことラー」です。ことラーがまちのあちこちで集い、人・モノ・コト等を対話でつないでいきます。

# こと!こと?かわさきは、

アートでつながる「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。

「こと!こと?かわさき」は、川崎のまち全体をフィールドとし、アート（文化芸術）を介して、人と人、人と場所、人とモノの間に「こと」を生み出し、人々がつながり合う「アートコミュニティ」を育むプロジェクトです。

川崎市が取り組む、誰もが文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向け、広く一般から集まったアートコミュニケーター「ことラー」と川崎市と東京藝術大学が連携して取り組みます。

プロジェクトでは、川崎市内の文化芸術資源を活用し、文化施設だけでなく福祉や医療の現場とも連携して、アートを介したコミュニケーションを創出します。また、新たなミュージアムの開設を見据えて、市民がまちの中で文化芸術を共有しあい、ともに未来を描けるコミュニティを育みます。

## （ことラーとは？）

ことラーは、アートを介して「こと」を起こす人々です。様々な背景や興味関心を持つ人々が集い、対話を重ねることから活動が始まります。会社員や学生、フリーランサー、専業主婦、退職後の方など、多彩な人々で構成されています。

ことラーとしての活動は3年間。その後は、プロジェクトの外へコミュニティの輪を広げ、市内各所で「アートで人々がつながっているまち」をつくっていくことを期待しています。緩やかにつながり合うアートコミュニケーターの活動やネットワークが、人々と社会を結び、「対話のある社会」、「多様性が尊重される社会」、「孤立しない社会」の実現を目指します。



こんな文化芸術のまわりで活動します

たとえば、こんな活動をします

文化施設の所蔵作品や展示やパブリックアート、伝統芸能、ストリートカルチャーなど、人々の営みのなかで作られ残してきたものや、これからも大切にしていきたいモノやコトを介してコミュニケーションを起こしていきます。

- 市内の文化芸術資源を巡るプログラム
- 作品を通して多様な人と視点とを共有し合う鑑賞プログラム
- 市民ミュージアムの活動と連携したプログラム
- 医療や福祉とコラボレーションしたプログラム

### 川崎市の目指す「アート・フォー・オール」

川崎市では、誰もが身近に文化芸術に触れ、参加できる環境「アート・フォー・オール」の実現に向けた取組を進めています。市内の文化資源を活用して、文化芸術を身近に感じることができるまちを目指しています。この実現のために、東京藝術大学を中心とする産学官共創プロジェクト「共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点」に参画し協働しています。

### 東京藝術大学を中核とする共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点

文化芸術機関、企業や医療福祉機関などが連携し、アート・福祉・医療・テクノロジーの分野の壁を超えて協働的に研究しつつ、人々の間につながりをつくる文化活動「文化的処方」を開発し、社会への実装を試みます。アートコミュニケーションの特性を活かして、人々が社会に参加していく新しい回路をつくり、誰もが超高齢社会で「自分らしく」いられる、誰も取り残さない共生社会の実現を目指していきます。



# ことラーの活動

ことラーは、学びの基礎となる講座を受けながら、いろいろな背景を持った人が集い対話を重ね、新たなコミュニケーションを育んでいきます。ことラーの活動は、プロジェクトチームと一緒に考え、つくっていきます。

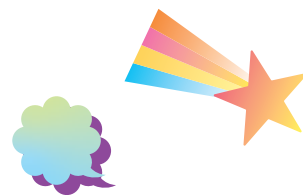
## ( 学ぶこと・実践すること )



まずはじめに!

### 基礎講座 4月～6月・全6回

活動を進める方法や対話の場づくり、アートを介したコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。



いよいよ実践!

### 実践講座 7月～

川崎市内のさまざまな文化芸術資源を題材に、活動のフィールドやモノやコトをよくみるための方法、コミュニケーションの技術などについて、実践的な場面を想定した学びを深めていきます。実践を通して気付いたことや疑問なども振り返り、話し合いを重ねて進めていきます。

## 実践講座は3コースから選択します

### まちと人実践講座



活動のフィールドとなる川崎の「まち」と「人」にフォーカスを当て、市内の魅力ある資源を多角的に捉えていきます。

### 鑑賞実践講座



対話型鑑賞の実践を通して、自らの鑑賞力を磨き、アートを介した対話の場づくりができるようになることを目指します。

### ケア実践講座



年齢や障害の有無にかかわらず、社会のあらゆる人が心地よく安心してコミュニケーションできる場づくりを目指します。

## ( 集うこと・育むこと )

アイデアを育てよう!

### ことラボ

新しい活動のアイデアがひらめいたら、「この指とまれ!」で他のことラーを集めてチームを作ります。3人以上集まったら、「ことラボ」のはじまりです。講座で学んだことやそれぞれの得意なことを持ち寄り、オリジナルの活動を展開していきます。



ことラーの活動の様子はnoteで発信しています!



# ことらー募集要項

( 応募受付期間 )

2024年12月15日(日)～2025年2月4日(火) 消印有効

## ( 活動条件 )

- アートコミュニケータの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等、学びのコミュニティに無料で参加できます。
- アートコミュニケータの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人とこと!こと?かわさき双方の合意のうえ登録更新し、最長3年間とします。
- こと!こと?かわさきのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。
- 活動拠点となる新百合トウェンティワンホール研修室や近隣の施設等で活動に参加できること。主な活動時間は10時～17時です。新百合トウェンティワンホール研修室を日常の拠点<sup>(※)</sup>とし、講座や実践活動は文化施設や街中などの川崎市内各所で行います。

### 拠点 新百合トウェンティワンホール

川崎市麻生区万福寺1-2-2 新百合21ビル 地下2階

※ 拠点については、令和7年7月中旬以降に、小田急線向ヶ丘遊園駅周辺に移転を予定しています。

## ( 応募条件 )

- 18歳以上の方(2025年4月1日現在)で、日本語で日常会話ができる方
- アートやコミュニケーションに関心があり、積極的に学び、川崎市内で活動する意欲のある方
- こと!こと?かわさきの趣旨に共感して活動できる方
- 2025年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能な方

### 基礎講座日程

2025年4月13日(日)、4月27日(日)、5月11日(日)、  
5月25日(日)、6月8日(日)、6月22日(日)、  
いずれも10時～15時予定

- 2025年7月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
- Eメールでの連絡、Googleカレンダーなどのウェブツールの操作及び使用が可能な方



ウェブサイトはこちらから  
<https://kotokoto-kawasaki.com>

## ( 選考スケジュール ) 募集人数 30名

### 応募受付期間

2024年12月15日(日)～2025年2月4日(火) 消印有効

### 一次選考 書類審査選考

結果は2025年2月17日(月)発送で応募者全員にお知らせします。

### 二次選考 面接審査

2025年3月1日(土)・2日(日)・3日(月)のいずれか1日  
面接は川崎市役所本庁舎で行います。

選考結果は2025年3月14日(金)発送で2次選考対象者全員にお知らせします。

## ( 応募方法 )

以下の書類を郵送してください。

### ● 応募用紙

「アートコミュニケータ応募用紙」に必要事項を記入してください。

※ 「こと!こと?かわさき」ウェブサイトよりダウンロードしてください。  
<https://kotokoto-kawasaki.com>

### ● 課題作文

A4用紙1枚(様式自由)

#### 課題

アートコミュニケータに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって貴重な体験について述べてください。

( A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですが、A4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。 )

### ● 返信用封筒1通

定形封筒(長形3号)に**110円切手**を貼付のうえ、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記し、同封してください。

郵送の際には、封筒の表面に「**アートコミュニケータ応募書類在中**」と朱記してください。

## ( 応募書類郵送先 )

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所本庁舎21階  
川崎市市民文化局市民文化振興室  
こと!こと?かわさきアートコミュニケータ募集担当 宛

※ 提出いただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。  
※ 応募者の個人情報は、アートコミュニケータの選考に関する以外には一切使用しません。





4月からスタートした「こと!こと?かわさき」は、現在40名のアートコミュニケーター「ことラー」とともに、誰もが自分らしくいられ、誰かとゆるやかにつながりを持てる社会を目指して、川崎のまちの中へ活動を広げています。私たちが日々を過ごすなかで、特別な日の関わり合いも、まちの中にある継続的で気軽に参加できる居場所も、どちらも大切なコミュニティのあり方です。こと!こと?かわさきでは、このコミュニティの二つの側面を捉え直すことで川崎市の目指す「最幸のまち」を実現したいと考えています。本フォーラムでは、今年度の取り組みから見てきた日常と非日常「ハレとケ\*」のコミュニティの捉え方と可能性、多様な価値観を持つ人々がそれぞれの楽しさを共有できるまちのあり方について、東京藝術大学学長と川崎市長をゲストに迎えて考えを深めていきます。

※「ハレ」はお祝い事などの特別な機会のこと、「ケ」は普段のこと



### 第1部 トークセッション「アートコミュニケーターが語る“こと”が起こすコミュニケーション」

- アートコミュニケーター
- 聞き手：玉置真（東京藝術大学 特任研究員／こと!こと?かわさきプロジェクトマネージャー）  
山本陽子（川崎市市民文化局市民文化振興室 企画調整担当課長）

### 第2部 ディスカッション「ハレのつながり、ケのつながり ~市民と川崎市と藝大でつくる文化的処方~」

- 日比野克彦（アーティスト／東京藝術大学学長）
- 福田紀彦（川崎市長）
- 近藤乃梨子（東京藝術大学 特任研究員／こと!こと?かわさきプロジェクトマネージャー）
- 玉置真（東京藝術大学 特任研究員／こと!こと?かわさきプロジェクトマネージャー）

日時：2025年1月11日(土) 13:30 ~ 16:00 (受付開始 13:00)

会場：川崎市役所本庁舎2階 ホール 川崎市川崎区宮本町1番地

定員：160名 (応募多数の場合は抽選、参加無料)

参加申込方法：申込フォームからお申し込みください。

申込受付期間：11月22日(金)~12月23日(月) 18:00 (抽選結果は年内にお申し込みの全ての方にお知らせします)

※手話通訳、UDトークによる文字表示支援あり。



お申し込みは  
こちらから

### お問い合わせ

川崎市市民文化局市民文化振興室 こと!こと?かわさき担当

電話：044-200-3170 / ファクス：044-200-3248

メールアドレス：contact@kotokoto-kawasaki.com / ウェブサイト：https://kotokoto-kawasaki.com

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 川崎市役所本庁舎21階

主催：川崎市、東京藝術大学 / 共催：共生社会をつくるアートコミュニケーション共創拠点 / 企画運営：こと!こと?かわさき

